

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 二級河川瀬野川水系熊野川支川1外砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 砂防 構造物基礎

ボーリング名	BorNo.2		調査位置	広島県安芸郡熊野町 地内(熊野川支川1)			北緯	34° 21' 09.7360"						
発注機関	広島県西部建設事務所			調査期間	令和3年 7月20日～ 令和3年 7月26日		東経	132° 35' 01.8853"						
調査業者名				主任技師			現場代理人							
コ				ア			鑑定者							
ボーリング責任者														
孔口標高	TP	275.03m	角			方			地盤勾配	14° 水平 0°	使用機種	試錐機 東邦地下工機 DO-D型		
総削孔長	12.17m	度			向			エンジン	ヤンマー NFD-13ER型		ポンプ	東邦地下工機 BG-3C型		

標尺	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試料採取	室内試験	削孔月日		
											深度 (m)	100mm毎の打撃回数	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深度 (m)	試料番号				採取方法	
	274.33	0.70	機混り砂質土	機混り砂質土	rd2	灰褐			表土及び前積土 ・最上位は草木根混じる暗褐色腐葉土 ・礫はφ20-50mm程度の細中礫が混入 ・砂は細-中粒砂、細粒分を伴う	7/22 4.10	50	1.00	貫入不能	50	0				7/20		
	272.73	2.30	礫石	礫石	rd3	淡灰			花崗閃緑岩質の礫石 ・緻密かつ著しく堅硬 ・岩質はB級岩盤に相当し採取試料は長柱状を呈す		50	2.00	貫入不能	50	0						
	271.23	3.80	玉石混り砂礫	玉石混り砂礫	rd3	黄褐			更新世後期産錐堆積物 ・玉石は確認石長L=10-15cm程度が混入 ・礫はφ75mm程度以下の円磨度乏しい中-粗粒から成る ・基岩同質または花崗岩質の堅硬な礫玉石が主体を成し、場所的にクサリレキ〜風化岩塊を挟む ・隙間を充填する基質は中-粗粒砂であり細粒分ならびにφ10mm程度以下の繊維-鉱物を伴い粒度不均一		11	2.65	4	3	4	11	300				
	271.23	3.80	機混り砂質土	機混り砂質土	rd3	黄褐			更新世後期産錐堆積物 ・確認石長L=10cm程度の玉石が点在 ・隙間を充填する基質は中-粗粒砂であり細粒分を伴い粒度不均一 ・場所的にクサリレキ〜風化岩塊を挟む ・礫はφ75mm程度以下の基岩同質礫が混入		31	3.45	11	9	11	31	300				
	266.43	8.60	花崗閃緑岩	花崗閃緑岩	rd3	灰褐			中粒-角閃石黒雲母花崗閃緑岩強風化岩 ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・原岩組織は明瞭に残存するも、長石類及び熱水脈部で粘土化進行 ・採取試料は場所的に岩芯を残すが、概ねでは土柱状を呈し手で容易に圧潰可能 ・深度方向に固結度を増し漸移的に硬質化 ・岩級区分はDII級(軟岩I)に分級される		17	4.15	7	5	5	17	300				7/21
	266.43	8.60	花崗閃緑岩	花崗閃緑岩	rd3	灰褐			中粒-角閃石黒雲母花崗閃緑岩強風化岩 ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・原岩組織は明瞭に残存するも、長石類及び熱水脈部で粘土化進行 ・採取試料は場所的に岩芯を残すが、概ねでは土柱状を呈し手で容易に圧潰可能 ・深度方向に固結度を増し漸移的に硬質化 ・岩級区分はDII級(軟岩I)に分級される		17	4.45	10	4	3	17	300				7/21
	262.86	12.17	花崗閃緑岩	花崗閃緑岩	rd3	灰褐			中粒-角閃石黒雲母花崗閃緑岩強風化岩 ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・原岩組織は明瞭に残存するも、長石類及び熱水脈部で粘土化進行 ・採取試料は場所的に岩芯を残すが、概ねでは土柱状を呈し手で容易に圧潰可能 ・深度方向に固結度を増し漸移的に硬質化 ・岩級区分はDII級(軟岩I)に分級される		21	5.15	10	4	3	17	300				7/21
	262.86	12.17	花崗閃緑岩	花崗閃緑岩	rd3	灰褐			中粒-角閃石黒雲母花崗閃緑岩強風化岩 ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・原岩組織は明瞭に残存するも、長石類及び熱水脈部で粘土化進行 ・採取試料は場所的に岩芯を残すが、概ねでは土柱状を呈し手で容易に圧潰可能 ・深度方向に固結度を増し漸移的に硬質化 ・岩級区分はDII級(軟岩I)に分級される		21	5.45	7	4	10	21	300				7/21
	262.86	12.17	花崗閃緑岩	花崗閃緑岩	rd3	灰褐			中粒-角閃石黒雲母花崗閃緑岩強風化岩 ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・原岩組織は明瞭に残存するも、長石類及び熱水脈部で粘土化進行 ・採取試料は場所的に岩芯を残すが、概ねでは土柱状を呈し手で容易に圧潰可能 ・深度方向に固結度を増し漸移的に硬質化 ・岩級区分はDII級(軟岩I)に分級される		21	6.15	7	4	10	21	300				7/21
	262.86	12.17	花崗閃緑岩	花崗閃緑岩	rd3	灰褐			中粒-角閃石黒雲母花崗閃緑岩強風化岩 ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・原岩組織は明瞭に残存するも、長石類及び熱水脈部で粘土化進行 ・採取試料は場所的に岩芯を残すが、概ねでは土柱状を呈し手で容易に圧潰可能 ・深度方向に固結度を増し漸移的に硬質化 ・岩級区分はDII級(軟岩I)に分級される		21	6.45	7	4	10	21	300				7/21
	262.86	12.17	花崗閃緑岩	花崗閃緑岩	rd3	灰褐			中粒-角閃石黒雲母花崗閃緑岩強風化岩 ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・原岩組織は明瞭に残存するも、長石類及び熱水脈部で粘土化進行 ・採取試料は場所的に岩芯を残すが、概ねでは土柱状を呈し手で容易に圧潰可能 ・深度方向に固結度を増し漸移的に硬質化 ・岩級区分はDII級(軟岩I)に分級される		21	7.15	17	19	14	50	260				7/21
	262.86	12.17	花崗閃緑岩	花崗閃緑岩	rd3	灰褐			中粒-角閃石黒雲母花崗閃緑岩強風化岩 ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・原岩組織は明瞭に残存するも、長石類及び熱水脈部で粘土化進行 ・採取試料は場所的に岩芯を残すが、概ねでは土柱状を呈し手で容易に圧潰可能 ・深度方向に固結度を増し漸移的に硬質化 ・岩級区分はDII級(軟岩I)に分級される		21	7.41	17	19	14	50	260				7/21
	262.86	12.17	花崗閃緑岩	花崗閃緑岩	rd3	灰褐			中粒-角閃石黒雲母花崗閃緑岩強風化岩 ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・原岩組織は明瞭に残存するも、長石類及び熱水脈部で粘土化進行 ・採取試料は場所的に岩芯を残すが、概ねでは土柱状を呈し手で容易に圧潰可能 ・深度方向に固結度を増し漸移的に硬質化 ・岩級区分はDII級(軟岩I)に分級される		21	8.15	7	9	13	29	350				7/21
	262.86	12.17	花崗閃緑岩	花崗閃緑岩	rd3	灰褐			中粒-角閃石黒雲母花崗閃緑岩強風化岩 ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・原岩組織は明瞭に残存するも、長石類及び熱水脈部で粘土化進行 ・採取試料は場所的に岩芯を残すが、概ねでは土柱状を呈し手で容易に圧潰可能 ・深度方向に固結度を増し漸移的に硬質化 ・岩級区分はDII級(軟岩I)に分級される		21	8.45	17	23	10	50	230				7/21
	262.86	12.17	花崗閃緑岩	花崗閃緑岩	rd3	灰褐			中粒-角閃石黒雲母花崗閃緑岩強風化岩 ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・原岩組織は明瞭に残存するも、長石類及び熱水脈部で粘土化進行 ・採取試料は場所的に岩芯を残すが、概ねでは土柱状を呈し手で容易に圧潰可能 ・深度方向に固結度を増し漸移的に硬質化 ・岩級区分はDII級(軟岩I)に分級される		21	9.15	17	23	10	50	230				7/21
	262.86	12.17	花崗閃緑岩	花崗閃緑岩	rd3	灰褐			中粒-角閃石黒雲母花崗閃緑岩強風化岩 ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・原岩組織は明瞭に残存するも、長石類及び熱水脈部で粘土化進行 ・採取試料は場所的に岩芯を残すが、概ねでは土柱状を呈し手で容易に圧潰可能 ・深度方向に固結度を増し漸移的に硬質化 ・岩級区分はDII級(軟岩I)に分級される		21	9.35	27	23	70	170				7/21	
	262.86	12.17	花崗閃緑岩	花崗閃緑岩	rd3	灰褐			中粒-角閃石黒雲母花崗閃緑岩強風化岩 ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・原岩組織は明瞭に残存するも、長石類及び熱水脈部で粘土化進行 ・採取試料は場所的に岩芯を残すが、概ねでは土柱状を呈し手で容易に圧潰可能 ・深度方向に固結度を増し漸移的に硬質化 ・岩級区分はDII級(軟岩I)に分級される		21	10.10	27	23	70	170				7/21	
	262.86	12.17	花崗閃緑岩	花崗閃緑岩	rd3	灰褐			中粒-角閃石黒雲母花崗閃緑岩強風化岩 ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・原岩組織は明瞭に残存するも、長石類及び熱水脈部で粘土化進行 ・採取試料は場所的に岩芯を残すが、概ねでは土柱状を呈し手で容易に圧潰可能 ・深度方向に固結度を増し漸移的に硬質化 ・岩級区分はDII級(軟岩I)に分級される		21	10.27	32	18	50	150				7/21	
	262.86	12.17	花崗閃緑岩	花崗閃緑岩	rd3	灰褐			中粒-角閃石黒雲母花崗閃緑岩強風化岩 ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・原岩組織は明瞭に残存するも、長石類及び熱水脈部で粘土化進行 ・採取試料は場所的に岩芯を残すが、概ねでは土柱状を呈し手で容易に圧潰可能 ・深度方向に固結度を増し漸移的に硬質化 ・岩級区分はDII級(軟岩I)に分級される		21	11.05	32	18	50	150				7/21	
	262.86	12.17	花崗閃緑岩	花崗閃緑岩	rd3	灰褐			中粒-角閃石黒雲母花崗閃緑岩強風化岩 ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・原岩組織は明瞭に残存するも、長石類及び熱水脈部で粘土化進行 ・採取試料は場所的に岩芯を残すが、概ねでは土柱状を呈し手で容易に圧潰可能 ・深度方向に固結度を増し漸移的に硬質化 ・岩級区分はDII級(軟岩I)に分級される		21	11.20	41	9	50	120				7/21	
	262.86	12.17	花崗閃緑岩	花崗閃緑岩	rd3	灰褐			中粒-角閃石黒雲母花崗閃緑岩強風化岩 ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・原岩組織は明瞭に残存するも、長石類及び熱水脈部で粘土化進行 ・採取試料は場所的に岩芯を残すが、概ねでは土柱状を呈し手で容易に圧潰可能 ・深度方向に固結度を増し漸移的に硬質化 ・岩級区分はDII級(軟岩I)に分級される		21	12.05	41	9	50	120				7/21	
	262.86	12.17	花崗閃緑岩	花崗閃緑岩	rd3	灰褐			中粒-角閃石黒雲母花崗閃緑岩強風化岩 ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・原岩組織は明瞭に残存するも、長石類及び熱水脈部で粘土化進行 ・採取試料は場所的に岩芯を残すが、概ねでは土柱状を呈し手で容易に圧潰可能 ・深度方向に固結度を増し漸移的に硬質化 ・岩級区分はDII級(軟岩I)に分級される		21	12.17	20	120						7/21	